

日 時：平成 29 年 6 月 15 日（木）11 時 50 分～13 時 00 分

場 所：名古屋国際会議場 第 6 会場

司 会：湯浅庶務担当理事

書 記：丸山 優（会員），黄永河（事務センター）

【開会宣言】

湯浅庶務担当理事より現代議員 92 名中，出席者 49 名（最終 54 名），委任状提出 27 名であり，出席者と委任状提出者を合わせて過半数となったため，社員総会が開催されることが宣言された。また，定款により，議長は堀内理事長となることが説明された。

【開会の辞】

堀内理事長より開会の挨拶があった。また，本議事録の署名理事は大塚理事に依頼することが説明され，承認された。

【報告事項】

1. 理事会報告（資料1）

正木副理事長より資料に基づき，活動内容の詳細について報告された。

2. 総務（庶務，広報）報告（資料1）

湯浅庶務担当理事より資料に基づき，総務の活動の詳細ならびに庶務報告として会員数が2,058名であること，前年度より195名増加したことが報告された。また，広報の活動の詳細が報告された。

3. 委員会報告（資料2）

1) 編集委員会

鈴木編集委員長より資料に基づき報告された。

- ・第21巻の発行：第2号は，26編投稿があり，原著3編，資料1編，実践報告2編が掲載となった。特集については，日本老年看護学会第21回学術集会特集とし7編を掲載した。
- ・第22巻の発行：第1号は，22編投稿があり，前号から継続査読を加えた結果，原著3編，資料8編，実践報告2編が掲載予定である。特集については，「急性期病院における認知症高齢者の看護実践を考える」を企画し掲載予定である。平成28年度の採択率は41.7%（次号掲載分も含む）であった。
- ・投稿数が増加するよう若手研究者・CN，CNSや実践家等を対象とする事例報告投稿サポートを企画している。
- ・今年度の計画として，抄録集の **supple** としての検討，学会誌の投稿規程の改定の検討を行う予定である。
- ・学会誌の論文投稿の締切日について報告された。

2) 研究・教育活動推進委員会

亀井研究・教育活動推進委員長より資料に基づき報告された。ガイドライン作成を進めるために，

エビデンスに基づくガイドライン作成に関する会員等への教育の機会の提供とその普及、および研究的な取り組みによるエビデンスの探索とガイドラインのスコープや臨床課題の明確化を進めた旨が説明された。

- ・研究活動の推進：第1回委員会では、今後2年間の作業計画の検討を行い、第2～5回の委員会では、スコープと臨床課題の表現や項目の精選を行った。
- ・教育活動の推進：8月に第1回ガイドライン作成セミナーでは、「Mindsによるガイドライン作成について」（講師：八重ゆかり）を開催し、59名の参加者があった。また、12月に直接ガイドライン作成・執筆に携わるメンバーを対象とする第2回ガイドライン作成セミナーを開催し、18名が参加した。

3) 老年看護政策検討委員会

酒井老年看護政策検討委員長より資料に基づき報告された。平成28年度・29年度期活動目標は、平成30年度の医療・介護保険ダブル改訂に向け、要望書及び提案書を作成し提出することとした。

①急性期病院の認知症サポートチーム加算Ⅰ、Ⅱの評価と改訂についての活動として

- ・認知症ケア加算2の算定に必要な看護研修の課題等に関する調査
- ・認知症ケア加算1・2を算定した病院の認知症ケアの実態に関するWeb調査
- ・第22回日本老年看護学会学術集会委員会報告で発表予定

②介護保険・医療保険に提出する新たな要望事項の作成についての活動として

- ・平成30年度要望書は、介護報酬1、診療報酬1の2件提出
- ・平成30年度技術提案書は、在宅ケア学会と協働で1件提出
- ・「認知症ケアにおける外来看護師の効果的介入ガイドラインの策定」の平成29年度看保連研究助成金を獲得

4) 国際交流委員会

山本国際交流委員長より資料に基づき報告された。

- ・活動方針：老年看護学に関する国内外の関係機関との交流や連携を推進する。
- ・平成28年度については、①第21回学術集会における教育セミナー（「国際共同研究・活動の推進に向けた尺度（指標）の活用と課題」）を行い、②学会HPにおいて国際学術集会開催予定の適時更新した。
- ・平成29年度については、①第22回学術集会における委員会企画（世界の高齢化社会に寄与する老年看護学を目指す；国際学会に行ってみよう）を行い、②連携の可能な海外の老年看護関連組織の探索を企画、実施し、会員のさらなる国際交流を推進する。

5) 研究論文表彰選考委員会

真田研究論文表彰選考委員長より資料に基づき報告された。

- ・研究論文表彰選考にあたりオンライン審査システムを用いて投票を行った(回答率 70.9%)。
- ・投票結果をもとに委員会で審議し、理事会にて2論文が承認された。受賞者には来年度の学術集会で発表をしてもらう予定である。

6) 生涯学習支援委員会

大塚生涯学習支援委員長より資料に基づき報告された。

- ・平成28年度は、以下2つの研修事業を実施し、1,091名（会員93名、非会員998名）の参加者があった。
- ・認知症看護対応力向上研修：平成28年4月の診療報酬改定による「認知症ケア加算2」の算出に伴う研修として全国7か所にて実施し、延べ957名の参加者があった。

- ・生涯学習支援研修実践編：①ELNEC-JG を日本緩和医療学会との共催で 2 回実施し、111 名の参加者があった。②災害支援検討委員会との共催で実施し、23 名の参加者があった。
- ・平成 29 年度は、引き続き全国で認知症看護対応力向上研修や生涯学習支援研修実践編を行い、更に従来の基礎編の研修も実施する予定である。

7) 災害支援検討委員会

太田災害支援検討委員長より資料に基づき報告された。

- ・第 21 回学術集会においてワークショップ「災害急性期から亜急性期にかけて；避難所での認知症高齢者への看護の実際」を企画、実施した。この企画を研修教材として活用し、生涯学習支援研修実践編を開催した。また、第 32 回国際アルツハイマー病協会国際会議で発表し、今年度も引き続き研修を行っていく予定である。
- ・「大規模自然災害時の被災高齢者支援ガイド」の改訂と冊子化および Web 上での情報共有・発信方法の検討、「災害時の避難所における認知症高齢者のケア」教材コンテンツを作成中である。また高齢者の災害看護に関して第 22 回学術集会でポスター発表する。
- ・日本看護系学会協議会（JANA）の災害看護連携会議として、2017 年 11 月にダボス・仙台世界防災フォーラム（仙台市）に参加予定である。
- ・第 22 回学術集会の委員会企画「災害時のリハビリテーション支援活動；JRAT の活動を通して」を開催予定である。

8) 専門看護師・認定看護師活動推進委員会

百瀬専門看護師・認定看護師活動推進委員長より資料に基づき報告された。

- ・第 21 回学術集会にて本委員会企画ミニシンポジウム「みかたが変われば高齢者が変わる；認知症高齢者の看護を紐解く」を企画、実施した。企画内容をまとめ、委員会報告として本学会誌第 21 巻第 2 号に掲載した。
- ・平成 28 年 4 月から導入された認知症ケア加算に伴い、それぞれの病院で具体的な活動方法に困難を感じている状況への対応として、G-CNS、D-CN を対象とした研修会を開催した。多数の参加者が得られ、アンケート結果からもおおむね研修会の目標は達成でき、参加者の満足度は高いものであったと評価した。
- ・第 22 回学術集会における委員会企画として、「最期まで輝く人生を支援するために他分野との共有から生まれる当事者主体の高齢者看護」をテーマとしたワークショップを行うことを決定し、内容、話題提供者の選定等を行った。

4. 学術集会について

1) 第22回学術集会

鈴木みずえ学術集会長より、開催中の学術集会の参加に対する御礼と現在の参加者数が1,794名であることが述べられ、以降の日程に予定されているプログラムについて説明があった。

2) 第23回学術集会

中島洋子学術集会長より、平成 30 年 6 月 23 日（土）～24 日（日）に久留米シティプラザで開催予定である旨が報告された。「つなぐ つくる つたえる老年看護の創出；より豊かに生きることを支え合う」というテーマのもと、特別講演、教育講演、シンポジウム、教育セミナーや臨床美術のプログラム等を計画している旨が説明され、久留米の地について紹介された。

3) 第24回学術集会

第24回学術集会は第31回老年学会合同学会であり、学術集会長として理事会より推薦された大塚

理事とすることが、出席者の拍手多数にて承認された。なお、平成31年6月6日（木）～8日（土）に「老年学先端研究と平衡老化」をテーマとし、仙台国際センター等の複数の会場で開催予定である旨が報告された。

以上について、質問等なく、上記の報告は承認された。

【審議事項】

1. 平成 28 年度決算（案）・監査報告について（資料 3）

山田会計担当理事より資料に基づき平成 28 年度決算が報告された。資料の一部の欠損があったが、パワーポイント提示により説明された。水野監事より資料に基づき平成 28 年度会計監査を行った結果、適正かつ正確であったことが報告された。説明に関して質問等なく、出席者の挙手多数にて平成 28 年度決算（案）は承認された。

2. 平成 29 年度事業計画（案）について（資料 4-1）

堀内理事長より資料に基づき、理事・監事選挙が追加された旨が説明された。

3. 平成 29 年度予算（案）について（資料 5）

山田会計担当理事より資料に基づき説明され、選挙管理委員会、倫理・コンプライアンス委員会、研究倫理審査委員会の予算が追加された旨が説明された。資料の一部の欠損があったが、パワーポイント提示により説明された。説明に関して質問等なく、出席者の挙手多数にて平成 29 年度事業計画（案）と平成 29 年度予算（案）とは承認された。

4. 平成 30 年度事業計画基本方針（案）について（資料 4-2）

堀内理事長より資料に基づき、平成 29 年の事業を継続していく旨が説明された。説明に関して質問等なく、出席者の拍手多数にて平成 30 年度事業計画基本方針（案）は承認された。

5. 役員選出規程（案）・代議員選出規程（案）について（資料 6, 7）

堀内理事長より資料に基づき、選挙管理委員会の委員構成は、法人化に伴い理事 2 名、会員若干名に変更された旨が報告された。説明に関して質問等なく、出席者の拍手多数にて役員選出規程（案）・代議員選出規程（案）は承認された。

【閉会の辞】

堀内理事長より、閉会の挨拶がなされた。

尚、欠損があった資料は、この後出席者に配付された。

以上

理事長

印

署名理事

印